

令和6年度第4回あおもり未来ミーティング（西部第3区連合町会）会議概要

日時：令和6年7月31日（水）14：56～16：04

場所：久須志福祉館 2階 大広間

テーマ：古川中学校の正門から校舎までの歩道の整備について ほか

参加者数：10名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、都市整備部理事、教育委員会事務局教育部長、
選挙管理委員会事務局長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・今年4月の古川中学校入学式に出席した際、前日の雨の影響で、正門から正面玄関までの間の簡易舗装が途切れ途切れになっている泥道・穴ぼこ道を歩いたら靴が濡れて、普段から通学している子どもは大変な思いをしているのではないかと思った。学校環境を整備することで頑張る気持ちが向上すると思うため、簡易舗装の整備をしてほしい。

⇒今回ご意見を受け、現場を確認した。冬期間の機械除雪や車の切り返しにより、春先になるとどうしても陥没してしまう。陥没した穴は、6月26日に、応急措置として、アスファルト合材による穴埋めをした。アスファルトによる舗装については、古川中学校の正門から校舎までかなりの距離があり、かなりの金額がかかるということで、なかなか難しい状況である。学校から陥没でどうしても不便だという連絡を受けた際には速やかにアスファルト合材で埋めて対応していく。

- ・青南町会の各種選挙投票所は、現在西中学校になっている。玄関先で靴を脱ぎ、投票箇所へ歩いているが、手すりもなく、靴を脱ぐにも大変である。また、雨が降ると玄関が濡れ、衛生上好ましくないことから、マットを敷いてそのまま投票箇所に行って帰ってくる方法にしてほしいと、町内の高齢者から要望が出ている。

⇒今回の要望を受け、西中学校に対して土足化の要望がある旨を伝えたとこ、早く土足化に対応する旨の回答をいただいたことから、選挙管理委員会と学校で協議し、次回の選挙から土足対応するための養生シートを敷いて開催する。

○テーマ以外に関するご意見等

- ・若い人の転出が、青森県が1位だと新聞で見た。若い人の流出は高齢化社会にも影響するが、市はその理由をどのように捉えているか。

⇒まずは、仕事があるかないかだと思う。就職活動をし、自分が希望する職が地元多くないということで、県外も含めて就職活動をし、最終的には県外の企業に就職する若者が多いと聞いている。県外に仕事に行くのは悪いことではなく、そこで修行して、いつかまた戻ってきてくれればいいと考えている。地元で新たな仕事を作っておけば、必ずいつか戻ってきてくれる、もしくは直接そこに就職してくれるという環境まで作りたいことから、市では「仕事をつくる」というのを一つのテーマにしている。

あとは、東京等に出た若者たちが、子育てをするなら青森に戻るという環境づくりも必要だと思っている。今、子育て支援策などたくさんのメニューを出して力を入れているところである。一朝一夕で結果が出るものではないが、地道な取組をコツコツと続けていくしかないと思っている。

地元の良さを分かった上で外に出て、いつか自分が良い街だと思える青森に戻ってきてもらうマインドも作っていききたい。